



食でつなく 地域の絆と見守り



自己紹介

森澤 恭子（もりさわ きょうこ）

1998年 慶應義塾大学法学部政治学科 入学

2002年 日本テレビ 入社

2006年 トレンダーズ PRコンサルタント

2007年 森ビル 広報室

2011年 長女出産 その後シンガポールへ

2013年 長男出産直前に帰国

みんなのウェディング 広報

女性キャリア支援 リブ 法人営業

2017年 東京都議会議員選挙 当選

2021年 東京都議会議員選挙 再選（2期）

2022年12月 品川区初の女性区長に就任

※ 23区の女性区長は現在7人

品川区のご紹介

区の概要

- 人口：412,786人(R7.1.1現在)
- 面積：22.85平方キロメートル
- 古くから交通の要衝として栄え、現在は企業の集積、「歴史・文化・水辺」などの強みを生かした新しい街づくりを推進

★人口は全国的に減少傾向にあるが、**緩やかに増加、就学前人口も増加**が見込まれている。



主な食の支援

- 区内には**39か所の子ども食堂**があり、**運営の補助**や**食材提供**で**活動を支援**
- クラウドファンディングを活用し、ひとり親を中心に**年間500世帯に食料品を配送**
- 区有施設「**エコルとごし**」(環境学習交流施設)などで**フードドライブ事業を実施**



地域資源

- 育児中の母親による実行委員会等が主催する「子育てメッセ」の開催など**子育て支援団体の活動が活発**
- 社会貢献意識の高い企業が多く、**食材の寄付**や**企業独自のフードパントリー**の他、**区との協働**で食の支援を展開

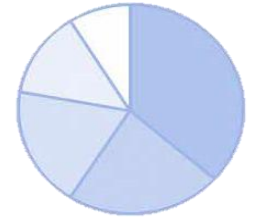


ウェルビーイング予算の編成（令和6年度）

1

全665事業の事務事業評価

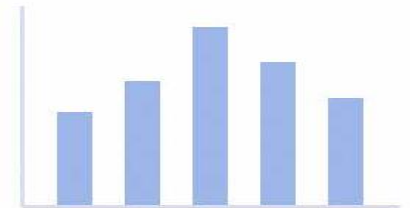
▶ **20億円の財源を捻出**



2

全区民アンケートの結果を分析

▶ **「重要度は高いが、満足度が低い」**
優先度の高いニーズを4つの領域に整理



ウェルビーイング予算 4つの柱（令和6年度）

区民の抱える「不」を解消、「区民の幸福（しあわせ）」
を実現することを目指す

- 1 安全・安心を守る
- 2 社会全体で子どもと子育てを支える
- 3 生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる
- 4 未来に希望の持てるサステナブルな社会をつくる

品川区から

子育て、教育、医療、介護、障がい者福祉等、基礎的な
行政サービスを所得制限なく提供

令和5年度

- 第2子保育料の無償化
- 学校給食費の無償化
- 高校生までの
医療費無償化

令和6年度

- 学用品の無償化
- インフルエンザ予防接種
高齢者無償化・子ども助成拡大
- 高齢者や障がい者の見守り
救急安否確認サービスの無償提供

EBPMによる施策展開

ニーズを捉え、ウェルビーイング向上につながる施策を生み出す
「EBPM（エビデンスに基づく政策立案）」

■ 子ども食堂 視察時の現場の声

昨今の物価高騰により「米」を十分に
購入できない家庭がある

夏休みに入り給食がなくなると
満足に食事を取れない子供がいる

■ 現場の声をスピーディーに政策に反映

令和6年第2回定例会(6月)補正予算にて
夏休み期間中に小中学生1人につき
2kgの米を所得制限なしで配付



お米支援プロジェクト

- R6年の夏休み期間、食の支援が必要な子育て世帯の小中学生1人につき2kgのお米を区内25か所の児童センターで配付（お米は連携協定を結ぶ「福井県坂井市」「高知県」より調達）

配付期間：8月5日～9月30日 ※希望者多数で期間延長

申込者数：10,830人分(7,250世帯)

配付数：10,257人分 ⇒配付未了分は子ども食堂へ寄付



- 児童センターで直接手渡し子どもの様子を確認
⇒区の施策による支援や見守りにつなげる

利用のなかった子ども・親子の来館
不登校の児童についての相談

「食」の支援から
つながりを創出

**子育て世帯への
お米支援プロジェクト**

対象のお子さん1人につき2kgのお米を配ります！
子ども達の夏休みに食の支援を！

申込期間 7月16日(火)～8月5日(月)

対象 区内在住で小中学生のお子さんがある世帯

配付会場 申請時に希望した児童センター

配布時期 8月上旬から順次（申請が多い場合は9月以降になることもあります）

申込み 品川区電子申請サービス（難しい場合はお問い合わせも可能）

AIチャットボットによるお助け
AIチャットボットがあるので
わからないこともすぐ聞ける！

児童センター活用のおまけにも
児童センターへ行ってみたいけど...
なにができるの？
この機会に児童センターを知ろう！

問い合わせ / 品川区子ども未来部子育て応援課 家庭支援係 03-5742-6385

クラウドファンディングを活用した子どもの食の支援

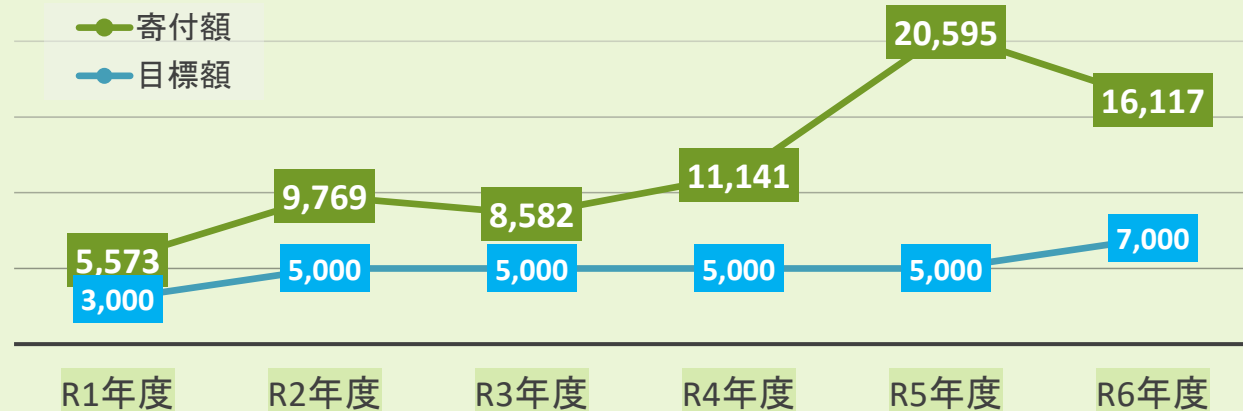
- ふるさと納税制度(返礼品なし)を活用し、**子どもの食の支援**を充実
- 資金調達だけでなく、事業に対する**地域の理解・賛同**を目的

【寄附の使途】

- ① しあわせ食卓事業（ひとり親家庭等への食品配送）
- ② 子ども食堂におけるフードパントリー活動支援
- ③ 子ども食堂継続支援（活動費の補助など）



寄附額(単位:千円)



しあわせ食卓事業配送食品の一例（R6年9月配送分）



子ども食堂

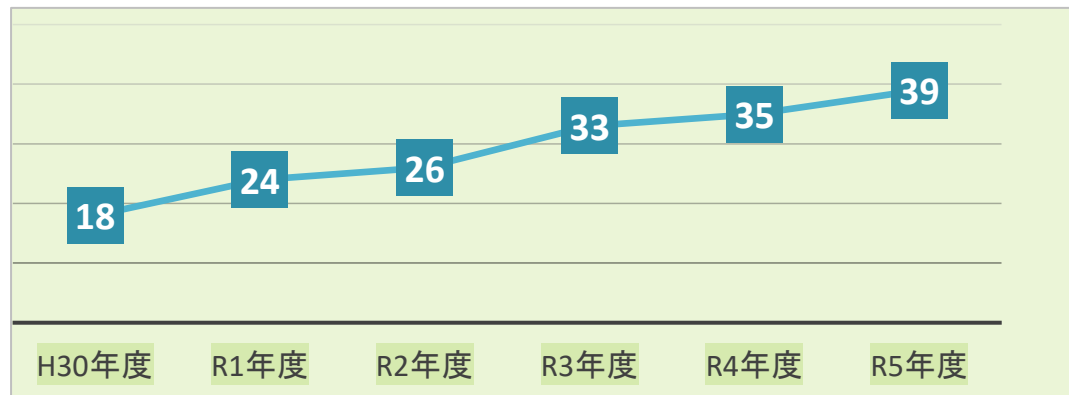
- 区内の子ども食堂は39か所、それぞれ地域のボランティアが運営
- アットホームな雰囲気です「みんなで食事」ができ、地域の「居場所」となっている

【区からの子ども食堂への支援】

- ① 運営費の補助
- ② 子ども食堂ネットワークの運営（支援企業との連携の仲介、情報共有）
- ③ 子ども食堂フォーラムの開催（子ども食堂の周知）



子ども食堂の数



子ども食堂での食事（一例）



「つながり」あえる社会を目指して



「ウェルビーイングな社会」を実現するため
品川区からリーディングケースを発信

- ▶ 区のみならず国全体の幸福(しあわせ)に
貢献していく

